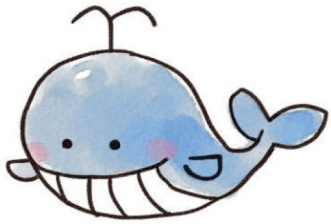




東そのぎ

第 172 号



議会だより



2020.7.6 氾濫した千綿川（昭和橋）
【消防第3分団撮影】

9月議会定例会	．．．	P2～P3
一般質問	．．．	P4～P6
請願	．．．．．	P7
8月臨時議会	．．．．．	P8
委員会調査報告	．．．．．	P9
傍聴者の声・編集後記	．．．．．	P10



東彼杵町ホームページ
議会情報

令和元年度決算を認定！

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引残	積立金	繰上償還額	積立金取崩し額	実質単年度収支
一般会計	4,953,405	4,777,547	175,858	4,134	0	0	33,177
国民健康保険事業特別会計	1,239,626	1,214,680	24,946	37,044	0	0	27,967
介護保険事業特別会計	814,539	809,346	5,193	17,174	0	0	△ 2,915
公共用地等取得造成事業特別会計	356	48	308	48	0	0	48
農業集落排水事業特別会計	42,964	42,958	6	0	0	0	△ 156
漁業集落排水事業特別会計	13,354	13,353	1	0	0	0	△ 1
公共下水道事業特別会計	340,910	249,466	91,444	0	0	0	89,667
後期高齢者医療特別会計	111,536	109,996	1,540	0	0	0	564
合計	7,516,690	7,217,394	299,296	58,400	0	0	148,351

決算とは、すでに使ってしまったお金ですが、適法適正だったのか、無駄な施策はなかったか。また町が1年間に町民の税金で町民の為に何が達成できたのか、どのような成果があったのかを、議会が監視・精査することです。

町有地貸付等、不適切処理

9月11日の決算審査及び17日の全員協議会で、下記事項が明らかとなりました。

【 明治の民家、不当貸付 】

明治の民家を今年8月飲食店等に20日間貸し出しされた。その貸付料は5万円であった。しかしながら過去3年間は無料で貸付られており、このことは、町の普通財産貸付規則に抵触するものであった。なお無料貸付は、渡邊前町長の指示によってなされていた事が判明した。

【 町有地貸付料、未徴収発覚 】

平成30年12月、彼杵宿郷の土地約84㎡が横浜市在住の方から寄付をされていた(居住者あり)。登記は平成31年1月、賃貸借契約は令和元年6月に結ばれていた。本来なら登記を済ませた時に居住者との賃貸借契約が結ばれていなければならなかった。この遅れた原因は、渡邊前町長の「寄付を受けた土地を返せ」との指示から生じたものという。また今年の8月、隣接している47㎡の土地15ヶ月分の賃料が未契約の為、徴収されていなかった事も分かりました。

貸付料や賃料の未徴収は、公平・公正の観点からして看過できるものではない。

令和2年度一般会計・特別会計補正予算

可決

一般会計補正予算

6億6644万9千円を追加計上し、予算総額69億7598万6千円

追加した主な事業	補正額
地域振興券追加給付事業費	4 1 3 0万円
7月豪雨災害時に伴う災害復旧事業費	2億5 3 7 1万円
いちご自動谷換気装置導入事業費補助金	4 2 8万円
アスパラガス自動防除機導入	2 5 9万円
第4分団詰所建築用地費	5 6 8万円
公共施設長寿命化計画策定業務委託料	2 1 2 5万円
新庁舎整備構想作成支援業務委託料	
総合会館防犯カメラ設置工事	2 8 0万円

- ★ 地域振興券(5千円)は前回1世帯当たりでしたが、今回は住民1人1人へ配布されます。
- ★ 7月豪雨では農地や道路・河川等35か所の被害がありました。
- ★ いちご、アスパラガスの補助金はいちご農家(39戸)アスパラガス農家(20戸)に補助されます。

国民健康保険事業特別会計補正予算

歳出、特定健康診査等事業費2万4千円、償還金及び還付加算金11万7千円を追加計上。歳入、14万1千円を追加計上。

介護保険事業特別会計補正予算

歳出、認定審査会等への出務及び介護保険制度の見直しに伴うシステム改修、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業及び介護給付費等費用適正化事業委託等の為1350万9千円を追加計上。

後期高齢者医療特別会計補正予算

歳出、総務費通信運搬費7万8千円、健康診査委託料10万2千円、後期高齢者医療システム改修費17万2千円を追加計上。歳入、35万2千円を追加計上。

農業集落排水事業特別会計補正予算

令和2年度より公営企業会計移行に伴う農業集落排水事業の資産整理業務について、2カ年にわたる債務負担行為にて委託業務を実施するために行うもの。

漁業集落排水事業特別会計補正予算

歳出、補助金内示変更に伴い建設費の工事請負費45万円を追加計上。歳入、45万円を追加計上。

水道事業会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策として収益的収支では施設巡回用タブレット購入事業等、資本的収支では管路情報デジタル化事業及び災害時停電対策として非常用発電機導入のための配線改良工事1件、収入総額2040万円追加計上。支出総額2096万1千円。

公共下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出、道の駅交差点改良工事に伴うマンホール蓋の調整工事として180万6千円を追加計上。資本的収入及び支出、道の駅交差点改良工事に併せ、管渠未整備地区へ管渠を布設するため380万円追加計上。

町政を問う！5名が一般質問

一般質問とは

町の行政全般にわたり町長等執行機関に対して行う質問。制限時間 60 分以内。会議録は後日ホームページで閲覧できます。

(本稿は質問者の責任で作成しています)

<p>5 林田 一二三 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 飼い主のいない犬猫問題への対応や対策について ● 気候変動の危機的な事態について 	<p>4 尾上 庄次郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 江ノ串バス停上り木場までの町道の立木伐採について ● 駄地公民館前の側溝工事後について ● 小学校・中学校の給食費の口座振替について 	<p>3 口木 俊二 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時のタイムラインの活用と防災ハザードマップについて ● 令和2年7月の豪雨について 	<p>2 立山 裕次 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 千綿駅の立地を活用した東彼杵町のPRについて ● 新型コロナウイルス禍における農産物の販売について ● 東彼杵町職員の接遇について 	<p>1 大石 俊郎 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の道の駅について ● 6月定例会一般質問（前教育長関連）の補足質問 ● 東彼杵中学校の制服価格等について
---	--	---	--	---



大石 俊郎 議員

道の駅のミニショップ・ングモールの構想は

【大石】道の駅を段階的にミニショップ・ングモールの（テナント方式）な道の駅に変貌させていく構想は。

【町長】客を呼び、出店者を集められ、出資企業を集められる事を前提として、町民の考えを聞き、議会の了承が得られれば、用地の無償貸付公募による民間活力を踏まえ、今後研究をしていきます。

おかしな議事録作成（教育委員会）

【大石】6月定例会で「教育委員会議事録をホームページで公開を検討する」と答弁。その検討結果は。

【教育長】7月の教育委員会会で審議し、ホームページに公表をしている。

【大石】7月の定例会では、委員2名のみ発言。教育委員会は合議制。何故、後2名の方の意見を聴かないで、結論づけられたのか。

【教育長】充分時間をかけ説明をしたが、一人一人の意見は聴かなかった。

【大石】教育次長が「ホームページの公表に際しては、氏名を記載しない方法になるのではないかと発言。教育次長に結論を導くような意見を述べる権限があるのか。

【教育長】意見を述べる権限はないと思います。

【大石】8月の議事録は、それまでは記載されていた委員の名前が記載されていない。教育次長の発言が決定づけたと思うが。

【教育長】名前を隠す意図はなかったが、自由に遠慮なく会議を深めるものにしたという意味もありました。

【大石】自由な意見交換を行う場合、暫時休憩をして行えば、議事録に残らない。

このような審議の進め方は、適切であったのか。

【教育長】ご指摘の通り、不適切であった。教育委員会でも適切に対処したい。

中学校制服、ズサンな価格設定と発注

【大石】制服等の取り扱い業者はどのようなになっているのか。

【教育長】5店舗（衣料組合）あり、すべて町内業者です。

【大石】制服の価格見積は取っていたのか。

【教育長】統合実施協議会が見積を取っていた。

※教育長は一般質問が終わった後、「見積は取っていない」と答弁を修正された。

※業者の言い値で、契約をしている現状は看過できるものではない。

【大石】価格が高い、またカルテルを結んでいるという疑いの声もあるが。

【教育長】問題点があると思っている。





立山 裕次 議員

千綿駅の立地を 活用した町のPRは 出来ないか

【立山】千綿駅・大三東駅・下灘駅・青海川駅・北舟岡駅・北浜駅、他にもいくつかありますが、これは「海に近い駅」と検索した時に良く出てくる所です。このことを活用し各自治体と連携して町のPRは出来ないか。

【町長】千綿駅は現在、観光の資源として活用しています。今後は議員が言われるような地域との連携ではなく、オンラインを活用したバーチャルツアー等が主流になると考えていますので、そちらに力を入れたいと考えています。

【立山】各地域の道の駅に彼杵茶等を置いてもらえば、不特定多数の方から口コミでおいしいとの

評判が広まるのではないかと。

【町長】バーチャルが主流になると考えていますので、実際に現地に行く方が増えるかは疑問があります。

コロナ禍における 農産物の販売対策は

【立山】行事やイベントの中止で在庫が大量に残るのではないかと心配をされていますので、対策として農産物の詰め合わせを町内出身の町外在住者に半額程度（半額は町負担）で販売できないか。

【町長】業種によって違いはあるが牛肉以外は大量の在庫はないと聞いているので、国の財政措置があれば検討する。

【立山】昨年12月に「東そのぎ農林水産トラック市」を開催されているが今年も開催予定か。

【町長】方法を変えての検討はしているが、コロナの影響で道の駅での開催は難しい。

【立山】シーサイド公園を活用し密にならないようにして2, 3回開催で

きないか。

【町長】シーサイド公園は県の所有であり用途が決まっているので、県に相談し大丈夫であれば検討したい。

町職員の待遇対策は

【立山】以前もお聞きしましたが、職員の待遇に対する苦情を今もお聞きします。現状と今後の対策はどのように考えていますか。

【町長】平成29年に全職員対象に研修を行っています。また、課長にも指導を徹底するように伝えていきます。今後も研修等含め職員周知に努めていきます。



日本一海に近い千綿駅（諸説あり）



口木 俊二 議員

災害時の タイムラインの 活用は

【口木】タイムラインの策定はしているのか。

【町長】平成28年に作成している。

【口木】前町長は作成していないと答弁されたが。

【総務課長】確かに平成28年度に作成はしている。どうして作成していないと回答されたか疑問に思う。前総務課長が決裁されている。

【口木】タイムラインの作成は全職員把握しているのか。

【総務課長】課長以上は把握している。

【口木】台風10号ではタイムラインを活用されたと言われたがどうだったのか。

【町長】マスクも数日前から報道していたので早めの対策が取れた。

【口木】マイタイムラインの普及の考えはないか。

【町長】一人一人が予め決めておくことが大事である。ある地区で話もしたし区長会でも話をして

いる。

【口木】防災推進委員の会議はあっていないが。

【町長】計画していたがコロナ禍で延期している。

【口木】継続していくのか。

【町長】継続はしていくが形を変えて組や班単位で計画をしていきたい。

【口木】千綿川のハザードマップ作製の予定は。

【町長】県が検討することと町としては出来ない。

【建設課長】千綿川については水位周知河川というのがありハザードマップ作製までは至っていない。

令和2年7月豪雨時の 危険水位の基準は

【口木】彼杵川氾濫危険水位の基準は。

【町長】氾濫危険水位の判断は県が判断する。判断基準のシステムの機器が設置してあると思う。

氾濫危険水位の基準が昨年見直され3.7mから2.6mに見直された。町が目で氾濫危険水位の情報を発令するわけではない。

【口木】何度も言っているが彼杵川大橋の橋桁に危険水位表示の設置を要望できないか。

【町長】県に要望はしている。県の砂防情報システムから直接発信されてくるので町から直接の発令はしていない。これからも設置要望はしていきたいと思う。



危険な彼杵川



尾上 庄次郎 議員

江ノ串バス停上から木場までの町道の立木伐採について

【尾上】千綿小学校に通う木場上からの子ども達は朝七時過ぎに通ります。梅雨時期は道路がすべりやすく立木で前が見えなくて見通しがままならず、たまにイノシシまで見かけるのが現状である。その防犯上の対策は。

【町長】過去平成23年に町に対して伐採してほしいと要請されたが、平成28年に地元で伐採された。それ以降は出ていない。基本的には地権者や地元でしてほしい。経費は自由に使うことができる地域への交付金等を活用してもいい。朝の集団登校については民生委員や区長さん達でされており、毎年

一回は学校やPTAで学路等が防犯上、問題がないかを調査されている。今後町としても地元と協力できるところは協力したい。

駄地公民館前の側溝工事後について

【尾上】この頃の梅雨時期は何十年に一度しかないような長時間にわたる豪雨が多く、そのうえ時間当たりの雨量が極めて多いので、以前の側溝では水がはけず近隣の家は非常に困っている。その対策は。

【町長】この町道は平成21年に来た駄地本線であり、現地は何回も見ている。当初公民館の側溝の排水管を設置するように設計書に入っていたがなぜか設置されていない。どこでどうなったかは今の時点で分からない状態である。その後浄化槽設置や下水道への接続で工事をしたが、そのままの状態であった。平成28年に側溝設置要請が上がっていたが、地区の優先順位が低かった為対応ができていなかった。なので今後、過去は過去と

して地元の方と協議していきます。

小学校・中学校の給食費の口座振替について

【尾上】今、働くお母さんが多いのに毎月給食費を集めて回って、JAに納付した後、教育委員会に通帳と納付書を持って行かれています。二重三重の手間です。キャッシュレス時代にどうして集めて回らないといけないのか。その対応については。

【教育長】今、川棚町（口座振替）、波佐見町（地区集金）、大村市（口座振替）であり、東彼杵町は地区集金で徴収者に負担をかけている。その結果県下でも徴収率は高く、子供達に品質や量を落とすことなく適切に提供できている。口座振替はメリットとデメリットがあるが未納額が多いなどの問題点が多い。平成28年度より徴収制度をかなり改善したが、今後徴収者に負担が少なくなるよう運営委員会が今一度検討してみたい。



林田 二三 議員

飼い主のいない犬猫問題への対応や対策について

【町長】迷い犬は首輪で狂犬病予防注射済みを確認し、捕獲したことをデータ放送や茶子ちゃんねる等で告示後、大村市にある長崎県動物管理所へ預けている。飼い主が判明しない場合は里親を探してもらい、見つからない場合は殺処分。猫に関しては駆除を目的とした捕獲は禁止されており、区長の申請がある場合は捕獲器を貸し出して

【林田】猫への苦情に対し捕獲器を貸し出す以外に方法は無いのか。例えば窓口に来られる相談者へ地域猫申請案内をするという事はできないか。【町民課長】自治会の合意形成の問題もあり、申し出があればご案内していた。【町長】今後は広報や区長会等でも地域猫のシステムの話をして広く周知したい。【林田】併せて猫の繁殖力の高さを伝え不妊去勢手術の大事さも周知してほしい。

に方法は無いのか。例えば窓口に来られる相談者へ地域猫申請案内をするという事はできないか。

【町民課長】自治会の合意形成の問題もあり、申し出があればご案内していた。

【町長】今後は広報や区長会等でも地域猫のシステムの話をして広く周知したい。

【林田】併せて猫の繁殖力の高さを伝え不妊去勢手術の大事さも周知してほしい。

気候変動の危機的な事態について

【町長】町としましては個人のごみ焼却の抑制、太陽光発電設備への補助などを推進している。東彼杵町の約70%が山林なのでCO2削減に大きく貢献していると思っている。今後は再生可能エネルギーの推進と森林の適正管理による温室効果ガス排出抑制等に取り組むことにより良質な自然環境を守っていき将来の町民の

皆様に持続可能な社会を引き継いでいきたい。【林田】気候変動による自然災害に耐えられる山や森、土中環境を再生することが特に急がれると思うが、小さな取り組みとして一区画の山の再生モデルケースをやってみてどうか。【町長】山については前から植林作業・記念植樹など町民の皆さんとずつと取り組んできています。今後休耕地を増やさないためにも後継者問題はありますので子ども達への教育の中でやらなくてはならないと思う。



地域ねことは サクラ耳ねこ カットした耳が桜の花びらに似ていることからさくら猫と呼ばれています。不幸な猫を減らす為飼い主のいない猫を不妊手術した後、地域の猫へ。地域に戻った猫が間違っず殺処分されないようV字に耳カットします。

請願第1号 一ツ石杉尾井出水源池及び水路の災害復旧工事 (全会一致採択)



7月の豪雨で甚大な被害を受けた一ツ石杉尾井出について地元だけでの復旧は高齢化の進捗や財政負担の面が厳しく地元負担が極力少なくなるよう請願が提出されたもの。

←杉尾井水源地災害の現地調査

請願第2号 気候異常事態宣言を求めるもの (趣旨採択)

町内在住の高校生が現状の地球温暖化や気候変動に危機感を覚え議会に採択を求めたもの。請願の趣旨は理解できるものの自然豊かな東彼杵町の実態や財政事情等を考慮した場合かけ離れた点や費用対効果の面からも気候異常事態宣言をするまでに至らないとされた。

林田	立山	口木	波瀬	大石	尾上	後城	浦	森	橋村
★	○	○	○	○	○	○	○	★	○

趣旨採択とは

賛否表 (趣旨採択○、採択★)

請願に充分理解でき一部は認めるが財政事情等から実現性に確信が持てない時や困難な場合に用いられる。

請願採択に賛成者

【森】 高校生たちが言うようにこの町で環境にやさしい取り組みをすることは町のイメージアップにも繋がる。未来を見据えた形での宣言となるのではないかな。宣言によって警鐘を鳴らすことで町全体で環境問題について再認識でき意識が高まるのではないのかと思う。採択が最も相応しい。

【林田】 近年想定を超える気象災害が増加し本町でも年々被害は深刻。気候変動リスクを踏まえた抜本的な防災・減災対策が求められている。気候が非常事態である危機感を町民の皆さんと共有し、本町で実現できる具体的な取り組みを真剣に考えるためにも気候非常事態宣言を求めたい。



【橋村】 非常事態宣言が気候変動やCO2削減を防ぐ唯一の手段ではない。不確実性の高い将来を予測して、危機的状況にない平時に、あえて危機感を与える必要はない。

【口木】 本町は農業が主幹産業で、請願を採択すれば、電気や重油の使用量が多いイチゴやミカン等のハウス栽培、また牛の肥育等も町として推奨できなくなり補助金も出しづらい。またCO2削減のため公用車は電気自動車に変え、職員も議員も歩いて登庁し、施設の照明もLEDに交換することも想定される。脆弱でますます厳しくなる本町の財政を考えれば残念ながら時期尚早。感情に流され実現できないことを安易に引き受けることは責任ある政治家として絶対にやってはいけない。

趣旨採択に賛成者

【大石】 高校生が行動を起こされたことは評価したい。しかし請願書にある政策提言は、ほとんどが国家的政策、大企業が実行すべきもの。コージェネレーションの導入など大きな企業が存在しない本町にとって導入が困難である。壱岐市は宣言により、市役所公用車を全て電気自動車に変え、苦慮している。宣言する以上は具体的政策の財政的裏付けをしっかりと詰めなければならない。

議員辞職勧告決議案可決

8月6日の臨時議会において森敏則議員に対する議員辞職勧告決議案は賛成多数で可決された。議員辞職勧告決議案は、東彼杵町議会始まって以来の事です。

【提案理由】（抜粋）

森議員は、千綿地区の氏神様である水神宮に「鈴及び鈴緒一式を奉納した」として、公職選挙法違反の疑いで長崎地検に送検され、その事実を認めている。

このことは、平成31年4月21日に実施された町議選が公平公正に実施されたものとは言い難く、この行為により議会構成や選挙後の議会運営に著しい影響を与えたことは否定出来ない。

【賛否表】

林田	立山	口木	浪瀬	大石	尾上	後城	浦	橋村
●	●	○	○	○	○	○	○	○

賛成者○ 反対者●

賛成討論

橋村孝彦議員

7月20日の議員連絡会では、1、2名を除いた大多数の議員が副議長を辞すべきだとの進言に頑として断っておきながら、21日には新聞社、おそらく1社だったと想像、そこで副議長を辞する旨の発言をされたらしく新聞報道で初めて知りました。29日は、町長、議員の前で公式な謝罪と副議長辞任を表明された。本人が事実を認め、謝罪したのであれば、役の辞ではなく職の辞、議員辞職の方が大方の人たちの支持を得るのではないかと、それが当事者の身の処し方ではないでしょうか。

反対討論

林田二三議員

こういったことが何度もありますけど、内容に関しては先程の説明で、そうだったところもあれば、何か大げさな部分もあると見受けられました。これに対し、あまりにも急なことで答弁を用意していないのでちょっとはつきりと答えられませんが、そもそもこういった議案に対して私は反対であり、もっと大事な話をしたいと残念に思います。

新副議長に橋村孝彦議員選出

8月の臨時議会において森議員の副議長辞職（令和2年7月31日付）を受けて、副議長選挙が行われ、無記名投票の結果、橋村議員が当選されました。

産業建設文教常任委員会調査報告書

7月27日教育委員会と8月3日農業事業者と懇談会を実施しました

○学校運営について

新型コロナウイルス感染症禍の中、対策について所管事務調査を行いました。教育長から取り組みや、今後の運営の在り方について説明を受け、教育次長から施設面での説明を受けた。自発的な考えを深める授業にも取り組み、熱中症対策、接触する活動や大声を控えるよう指導している。

オンライン授業を今後5年間で導入の予定が、国の方針で前倒しされ、次年度からPC室で授業ができるようになる。

タブレットの環境づくりが課題であり、オンラインの推進を進めている。学校行事が中止や短縮になる中、子どもたちもストレスが蓄積していると思うので、十分注視して見守っている。幸い県からの要請でスクールソーシャルワーカーの活動時間を増やしてもらっている。



教育委員会と意見交換会

○農業事業者の現況について

長崎県央農協東そのぎ支店内において懇談会を開催しました。各支部いろいろな意見がありましたが、多くの事業者が厳しい対応を強いられているとのことでした。その中でもお茶生産者や肥育牛関係者が特に厳しい状態であると思われた。

各部会ともそれぞれ知恵を出し合い試行錯誤しながら、生き残りをかけて取り組んでいる様子がうかがわれた。

委員会としては関係者の要望に対し、担当部署と慎重に協議を進めていきたいと考えている。



農業事業者と意見交換会

総務厚生常任委員会調査報告書

7月17日ふるさと交流センターの聞き取り調査を実施しました

1 組織及び運営体制

会員144名、代議員38名、役員等18名、事務局として会長（町長）、事務局長（まちづくり課長）、事務局職員（常勤職員1名、町派遣職員1名）で構成されている。

2 ふるさと交流センターの事業

(1) 着地型観光事業（グリーンツーリズム）

- | | | |
|----------------------|------|------|
| ①インバウンドツアー「将軍トレイル」受入 | 元年度 | 88人 |
| ②農家民泊受入 | 元年度 | 151人 |
| ③グリーンティーツーリズム体験ツアー | 31年度 | 34人 |

(2) 観光・移住PR事業

- ・西九州させぼ広域圏事業「かつちえてアイラブ西九州フェア」物産PR参加
- ・「町イチ！村イチ！2019」物産PR参加
- ・日本橋長崎館「東彼杵町フェア」実施

(3) イベント事業・・・R元年度 東そのぎ山あそび親子キャンプ

(4) 特産品開発事業・・・東彼杵町特産「そのぎ茶（そのぎ抹茶）」を活用したお菓子を試作

(5) レンタルサイクル事業

滞在期間の延長と周遊化を推進する手段としてレンタルサイクル事業を検討



3 令和2年度事業の計画

(1) イベント事業：食に関するイベント【新規】・写真イベント【新規】

(2) 特産品開発事業：そのぎ抹茶を使用した菓子を商品化へ磨き、ふるさと納税返礼品に採用

★ 過去3カ年の収支決算状況における町補助金は、平成29年度598万円、平成30年度629万円、令和元年度680万円であった。

今後、組織の充実を図ると共に収益率アップのため集客力の向上並びに効率の良い職場体制を図りたい。また、実態に合った会則の見直し、更にネーミングも事業活動内容が分かり易い、旧名称の「観光協会」の方がよいのではないかという提言がなされた。

傍聴者の声



9月定例会の傍聴者は23人でした。

★義務教育の制服等の価格を談合的に決めている現在のやり方はおかしいと思います。もう少し、保護者に寄り添って頂きたいです。

(40代 女性)

★重点道の駅が完成した後、たくさんのテナントが入って利便性がアップすることを期待しています。

(40代 女性)

★教育委員会の議事録について、「記名公開＝責任」であると思います。是非、記名にて公開して頂きたいです。

(40代 女性)

★16件もの法律違反された方に「処分なし」とはビックリしました。公平公正とは、とても言えませんね。

(60代 女性)

★職員の挨拶について一般質問とは？町長や担当課長に進言すれば良いのでは。

(60代 女性)

★土日の開催を多くして欲しい。

(70代 男性)

傍聴ありがとうございました。一部抜粋して掲載しています。

町民の声 大募集！

議会だよりへ掲載する町民の方からの声を募集しています。ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。

編集後記

先月は、台風9号、10号がたて続けに近くを通り過ぎていきました。

特に10号では、少なくとも649名の方が5箇所避難所に避難をされました。幸いにも人的被害はありませんでした。

9月議会では、決算審査をはじめとし26の議案が審議をされ、活発な議論が展開されました。特に、町有地貸付料については、町当局の対応を問い質し、議会の存在感を示せたものと感じをしております。

議会力を高めていくには、議員一人一人の努力と研鑽が第一である事は言うまでもありません。それに加えて、町民の方々に議会への関心を寄せて頂く事も、不可欠な要素であります。

今まで以上に議会に対し、厳しいご批判と関心を寄せて頂く事を願い、編集後記と致します。
(大石)

委員長 口木 俊二
副委員長 尾上庄次郎
委員 林田 二三
大石 俊郎

浦 富男
橋村 孝彦